

令和7年度 沖縄県立沖縄工業高等学校 学校評価										学校関係者評価	
1 学校経営目標		①全職員が共通理解・共通認識のもと連携・協働することにより、校務の適正化および効率的運用を図る。 ②人権尊重、安全教育を礎として、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、社会の変化に主体的に対応できる能力や創造性を育成する。 ③研修体制を確立し教職員の資質向上を図り、学校の課題解決・活性化へ繋げる。								A	
2 取り組み課題		①使命感と誇りを持ち、人権尊重・コンプライアンス遵守の職員集団育成 ②教育環境の整備・充実を図り、学校事務の効率的で効率的な運営と職員の多忙化解消 ③生徒の人権尊重・規範意識を育み、基本的な生活習慣を確立し、安全教育を徹底した指導・支援の推進 ④学校のビジョン・学科の特色を捉えたカリキュラムマネジメント(新学習指導要領対応)の推進 ⑤キャリア教育の充実と希望進路の実現、支援体制の確立 ⑥資格取得奨励と支援体制の確立 ⑦特別活動、部活動の活性化と適切・効果的な指導(暴力・暴言・ハラスメント防止) ⑧文武両道による学力向上 ⑨特別支援・教育相談機能の充実と中途退学の未然防止 ⑩授業力(分かる授業・言語活動・ICT・A・L)、生徒指導力・学級経営力の向上 ⑪外部機関との連携や、保護者・同窓会・後援会との協働体制の確立									
3 評価		A (4.0~3.2) B (3.1~2.4) C (2.3~1.6) D (1.5~1.0)									
重点努力目標	具体的目標	取組等	自己評価・外部評価				総合	次年度への改善案	評価	意見等	
			教職員	生徒	保護者						
F 信頼され開かれた学校づくり	教育方針の周知	1 学校の方針が示され、地域のニーズに応えている	3.4	A	3.0	B	3.6	A	A	3.8	・総合評価はA評価だが、「教育方針の周知」において、生徒の評価がB評価にとどまっている。 ・保護者や地域への発信は良好だが、生徒に対して学校のビジョンが十分に自分事として伝わりきっていない可能性がある。 ・生徒の評価が若干低いのは、生徒がもっと地域で活動したい、交流したいという意識の表れではないか。 ・すべて満足という事にはならない様、Bとした。
	特色の発信	2 学校の特色がわかりやすく、地域に周知されている	3.1	B	3.4	A	3.6	A			
	地域連携	28 地域行事や産業界との連携に、積極的に参加している	3.2	A	3.3	A	3.7	A			
	意見の反映	30 保護者や地域、外部団体の意見をよく聞いている	3.0	B	3.3	A	3.7	A			
B 生徒指導・生徒支援の充実	基本的な生活習慣	3 マナー(挨拶・スマホ等)の指導が行われている	3.2	A	3.5	A	3.6	A	A	3.5	・学校に行くとは以前より、生徒からの挨拶を受ける事が減った感じがする。 ・基本的生活習慣の確立(挨拶・マナー等)も安定しており、学習や実習の基盤がしっかりと築かれている。 ・いじめ防止や不登校支援において、「教育相談」の充実を継続し、SNSに関連したトラブル未然防止のための情報モラル教育も強化すべき。 ・全体的に素晴らしい評価で、雰囲気の良い学校づくりができています。
	服装容儀	4 制服や身なり、服装容儀の指導が行われている	3.0	B	3.6	A	3.6	A			
	動息指導	5 生徒の動息(遅刻・欠席等)への指導が適切である	3.2	A	3.5	A	3.7	A			
	校則の理解	6 校則や社会のルールを守る精神を身につけさせる指導が行われている	3.3	A	3.3	A	3.7	A			
	交通安全	7 交通安全(自転車等)の指導が適切である	3.3	A	3.6	A	3.7	A			
	人権尊重	8 人権を尊重する教育活動が行われている	3.4	A	3.6	A	3.7	A			
	いじめ防止	9 いじめ問題への取り組みが適切になされている	3.4	A	3.3	A	3.6	A			
	安全管理	10 施設・設備の安全管理や生徒の安全確保が十分である	3.5	A	3.6	A	3.8	A			
	相談体制	11 生徒の健康管理や教育相談・特別支援の体制が充実している	3.3	A	3.5	A	3.6	A			
	危機管理	13 感染症対策や緊急時の対応が適切に行われている	3.4	A	3.3	A	3.7	A			
E 学校の活性化	学校行事	25 学校行事(沖工祭等)が充実している	3.5	A	3.5	A	3.8	A	A	3.8	・中学校へ、沖工の就職進学、資格取得等の実績をもっとアピールした方がいい。 ・学校行事や環境美化において高い評価を得ている。生徒自身も行事の充実を高く評価しており、学校生活への満足度が伺える。 ・生徒の活躍が新聞やテレビで紹介されており、学校の魅力が広く県民に周知されている。 ・生徒が主体的に学校行事に取り組んでいる様はとても頼もしい。
	生徒の主体性	26 生徒会活動や学校行事が活性化しており、生徒の主体性が育まれている	3.2	A	3.4	A	3.8	A			
	情報発信(広報)	29 特色や活躍について、積極的な広報が行われている	3.1	B	3.4	A	3.7	A			
	環境美化	12 校内の環境美化や整備がよく行われている	3.5	A	3.2	A	3.8	A			
D 授業力の向上	主体的・対話的な学び	14 生徒同士の学びを活発にする授業が行われている	3.3	A	3.4	A	3.7	A	A	3.8	・専門性を活かした授業は高く評価されているが、教員側にはICT活用の質的向上にまだ課題感がある。「工業教育ならではの高度な活用」へとシフトさせるための校内研修を充実させてほしい。 ・ICTの進化は早く追いつかない点もあると思うが、ぜひ強化してほしい。
	学習意欲の向上	15 一人一人にやる気を起こさせる授業が行われている	3.2	A	3.3	A	3.6	A			
	基礎学力の定着	16 基礎・基本的な学力の定着が図られている	3.2	A	3.4	A	3.6	A			
	ICTの活用	17 授業でICT機器や学習用端末の活用が積極的に行われている	3.1	B	3.4	A	3.7	A			
	体験的学習	18 地域連携や貢献を意識した「ものづくり」や課題研究が推進されている	3.3	A	3.6	A	3.8	A			
	学習評価	19 学習評価は、適正・適切に行われている	3.3	A	3.4	A	3.7	A			
A 希望進路の実現	進路に応じた教育	20 各科の特色を活かした教育に取り組んでいる	3.3	A	3.5	A	3.8	A	A	3.8	・3年間を見通した系統的な指導が定着しており、工業高校としての強みが最大限に発揮されている。 ・すべて高評価だったのは、先生方のサポートの賜物で、素晴らしいと思う。 ・県立なのに県への就職が少なく、寂しい。学校の格付けにも関わらず、県への就職を更に考えるべきだと思う。必要なら、政治的な働きかけも行う。
	系統的な進路指導	21 計画的な進路指導が、年間を通して行われている	3.2	A	3.5	A	3.7	A			
	進路相談・支援	22 進路を選択するための能力・態度の育成が行われている	3.3	A	3.6	A	3.7	A			
C 文武両道による学力向上	資格・検定	23 資格取得・検定試験への取組が充実している	3.4	A	3.6	A	3.8	A	A	3.8	・資格取得や部活動など、沖工らしい実績が評価されている。 ・資格取得への意欲の高さは、生徒の自信につながる沖工の大きな財産である。
	読書・図書館	24 図書館の資料が充実し、生徒の学習や読書活動に有効活用されている	3.3	A	3.4	A	3.6	A			
	部活動	27 部活動が盛んで、適切な指導体制ができています	3.1	B	3.4	A	3.8	A			
G 働き方改革(3軸6視点)	職場環境	31 同僚や管理職との良好な人間関係が構築できている	3.4	A				A	B	2.8	・「時間の確保」が、全項目の中で唯一2点台となっており、教職員にとって最大の課題。 ・「業務の精選」を掛け声だけで終わらず、会議の短縮、行事準備の効率化、ICTによる事務作業の削減を断行すべき。教員の「ゆとり」が生み出されて初めて、生徒一人ひとりと向き合う教育の質が維持・向上されると思う。 ・素晴らしい学校運営の背景に、先生方の負担が大きくなっているのではと懸念。すでに働き方改革を推し進められていると思うが、より負担軽減するためにAIの導入や地域連携を積極的に進めたい。 ・先生方の不満に同情する。民間技術者の利用なども、もっと活用すべき。
	時間の確保	32 教職員が個人の裁量を持って業務にあたる、ゆとりある時間が確保されている	2.7	B				B			
	信頼関係	33 教職員が生徒一人ひとりと向き合い、信頼関係を深めることができている	3.1	B				B			
	専門性の向上	34 教材研究や研修など、教職員の専門性を発揮するための体制が充実している	3.0	B				B			
	健康と安全	35 教職員の心身の健康確保と、安全・快適な執務環境が整えられている	3.1	B				B			